

# U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

## 米国 製造業部門の拡大ペース鈍化を示唆したNY連銀製造業景気指数(05年1月)

発表日:05年1月18日(火)

~当面緩やかなペースでの拡大に~

(No. UI - 150)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
04/04	32.16	30.86	37.21	19.80	-0.93	9.35	6.66	57.01	13.08	19.17
04/05	31.01	35.47	39.85	21.99	2.50	12.50	13.91	56.67	17.50	22.34
04/06	30.19	26.87	32.94	15.39	3.42	5.98	8.65	52.14	20.51	13.39
04/07	34.65	27.72	32.44	15.28	5.98	5.98	13.06	56.41	17.95	20.24
04/08	14.67	18.34	15.56	18.87	-1.61	3.23	-0.62	50.00	16.13	10.56
04/09	26.72	24.84	29.70	19.51	-1.63	4.88	9.24	52.03	16.26	16.25
04/10	23.75	22.06	22.34	16.33	1.67	4.17	0.45	59.17	15.00	5.89
04/11	19.78	17.52	23.15	9.63	0.00	-5.00	0.01	53.33	17.50	3.32
04/12	27.07	36.14	35.62	15.71	1.92	2.88	7.69	57.69	15.38	2.86
05/01	20.08	20.99	26.20	12.71	-10.92	-1.68	5.65	50.42	27.73	16.72

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
04/04	51.67	47.96	44.56	28.53	5.61	2.80	10.25	53.27	21.50	8.45	37.38
04/05	51.50	52.60	51.22	32.73	0.83	0.83	16.75	51.67	25.83	17.21	31.67
04/06	53.91	52.67	59.27	32.06	3.42	0.85	23.64	54.70	27.35	16.48	30.77
04/07	53.84	56.38	61.37	35.35	6.84	3.42	16.76	52.14	30.77	25.39	29.06
04/08	50.04	48.49	52.29	10.63	-4.03	4.03	4.15	53.23	21.77	13.35	20.97
04/09	60.21	53.38	57.70	26.74	-0.81	-2.44	15.49	61.79	27.64	17.80	31.71
04/10	58.90	56.50	55.67	33.60	0.83	0.00	14.37	52.50	34.17	21.83	31.67
04/11	52.36	50.12	50.62	22.84	0.83	-1.67	12.17	55.83	28.33	10.04	29.17
04/12	46.96	41.84	43.46	22.84	-3.85	1.92	7.01	62.50	25.96	5.11	25.96
05/01	42.16	49.07	47.67	22.91	11.76	0.84	12.82	55.46	35.29	5.12	32.77

### 前月比6.99ポイントの低下

1月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄の地区の製造業の動向を示す)は、新規受注、出荷、雇用、在庫、入荷遅延の低下により20.08と前月比6.99ポイント低下した。12月が27.07と速報の29.93から下方改定されたなかで市場予想の24.0を下回っていることから、市場が考えていたようには製造業部門が再加速していない。ただし、拡大縮小の分岐点である0を21ヵ月連続で上回っており、製造業部門は拡大傾向を辿っている。

12月の受注の急増が一時的な動きであったことが確認され、2005年入り後も製造業部門は鈍化傾向を辿っている。さらに、1月入り後の各種消費者センチメント調査がまちまちの結果となっているように、1月の景気動向を示す経済指標は景気の鈍化を示唆したため、景気に対する過度に楽観的な見方が弱まり易い状況となった。6ヵ月先予測指数も、依然大幅なプラスを維持しているものの低下傾向を辿っており、NY連銀製造業景気指数は当面鈍化傾向を辿ると予想される。

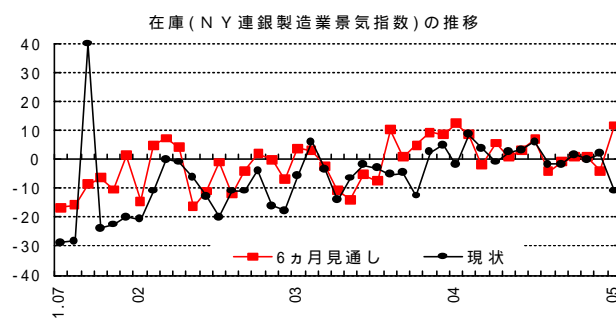
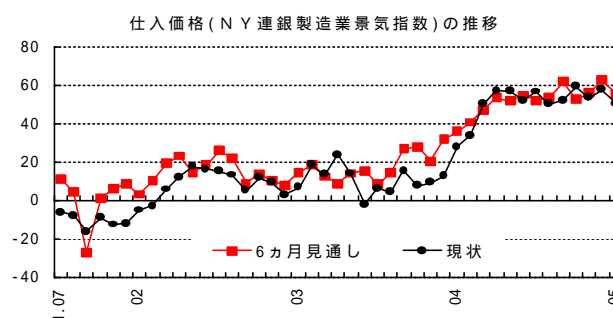
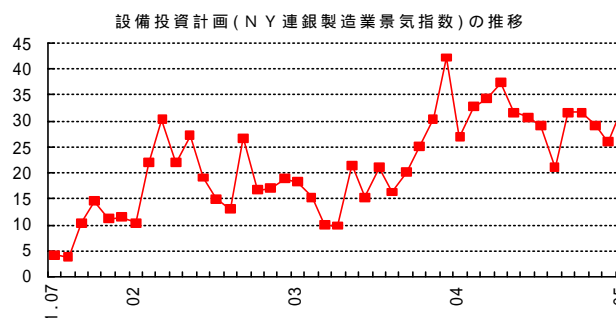
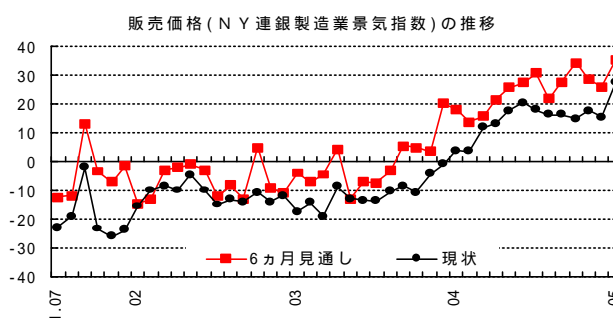
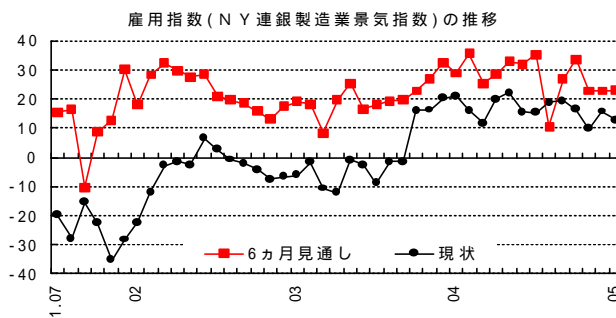
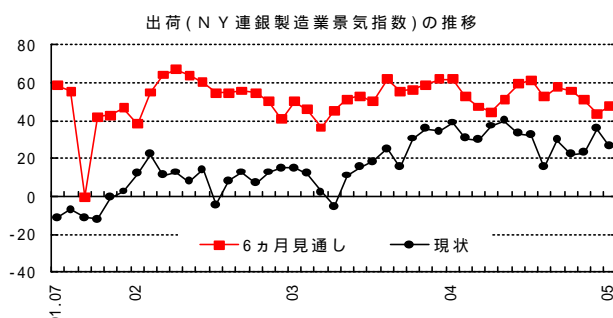
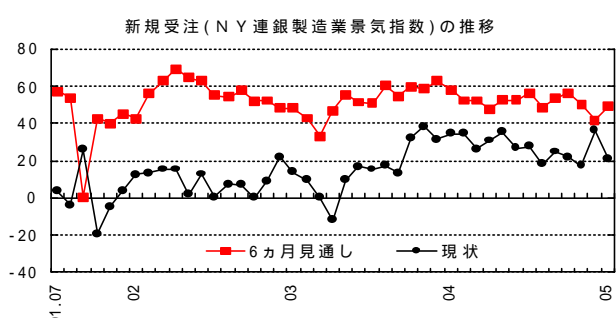
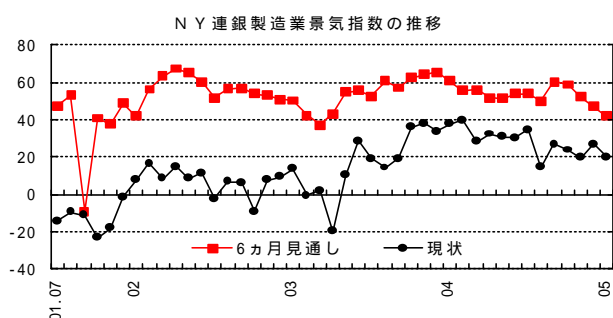
### 設備投資の拡大持続を示唆

個別にみると、出荷は前月の35.62から26.20に低下したものの21ヵ月連続で0を上回り、在庫指数は10.92とマイナスに転じた。一方で、新規受注指数は前月の36.14から20.99に大幅に低下し、受注残も5.65と低下したことから、1月のNY連銀管轄地区の生産は拡

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

大ペースが鈍化していると予想される。雇用関連では、雇用指数は12.71と前月から低下しており、1月の製造業部門の雇用拡大ペースが鈍化していることが示唆された。物価面では、仕入価格が低下したが販売価格指数が上昇しており、インフレ圧力がやや強まっている。一方で、企業収益に対しては押し上げ効果が期待できる。

6ヵ月先予測では、将来の販売価格の上昇と仕入れ価格の低下を見込んでおり、価格転嫁に楽観的になっている。このような予測のもと、雇用指数はほぼ横這いとなっており、企業が雇用の拡大に慎重な状況が続くことを示唆している。一方、設備投資計画は32.77と前月の25.96から上昇し設備投資の拡大ペース加速を示している。設備投資計画が高い水準にあることから、企業は設備投資に前向きな姿勢を維持しているとみられ、減税終了後に設備投資が急減するリスクは小さいことを示唆している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命いしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。